

萱尾明神社 かやをのみやうじんやしろ〔醍醐だいがの南、日野ひのにあり、土人産沙神うぶすなじんとす。例祭は九月五日。いにしへは法界寺はふかいじの鎮守なり〕

腹帯地蔵 はらおびのちざう〔萱尾かやをの西にあり。本尊は行基ぎやうきの作、長八尺。寺号を淨福寺じやうふくじといふ〕

大裡芝 だいのしほ〔日野村ひのの良五町うしとらばかりにあり、日野家の別荘の旧地なり。土人官家ゆへ口称して今大裡芝だいのしほといふ〕

大宅岩屋明神 を、やけいはやみやうじん

外山 とやま〔日野村ひののひがしの山をいふ。此所に鴨長明かももちやうめい方丈石あり、由縁前編に見へたり。近年岩垣いはがき氏碑石を建る〕

天神宮 てんじんぐう〔北小栗栖をぐるすの山上にあり、土人産沙神とす。例祭は九月晦日なり〕

巖屋明神社 いはやみやうじんやしろ〔山科大宅村やましなのひがしにあり。祭神宮道祖神みやみちのそじん、西の山と同神なり。神祇式会、山科神社二座、土人生

土神とす、例祭九月十六日、神輿三基〕

興福寺旧蹟こうふくじ くりせ

〔岩屋明神鳥居の巽二町にあり、こゝに初いとなみ給ひしゆへ山階寺といふ〕

〔編年集成云、大織冠鎌足公、山階陶原館を改て寺となせり、時は齋明天皇三年なり。続日本紀云、神護景雲元年山階寺に行幸し給ふ。天武帝白鳳元年山階寺を大和高市郡厩坂にうつす。釈書云、元明帝和銅三年淡海公春日の地にうつして興福寺と改む〕

興福寺橋こうふくじのはし

〔同所街道の中にある石橋なり。是古山階寺の門前とぞ〕

仏足石ぶつそくせき

〔いにしへ此所にあり、今南都西京薬師寺にあり。大和名所図会に見へたり〕

妙見寺めうけんじ

〔岩屋明神のひがしにあり。妙見堂ありて北辰に祭る。拾芥抄曰、妙見寺王城の四方にあり。今按ずるに此

所東方の妙見寺ならん〕